

伊勢湾

6月13、14日の調査結果を図1に示しました。前回調査（6月7日）に比べ、伊勢湾南部で貧酸素水塊が発達していました。

今後は、表層の水温上昇と梅雨の影響を受けた塩分低下にともなう成層化により、貧酸素水塊が発達すると思われます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.0~22.5	27.5~31.3
底層	14.8~20.8	32.4~33.4

三河湾

6月13日の調査結果を図1に示しました。前回調査（6月1、4日）に比べ、三河湾の渥美湾側で貧酸素水塊が発達していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、8日から底層で徐々に発達していた貧酸素水塊は、12日の午前から13日の午後にかけて風速4.7~10.7m/sの北から西の風が断続的に吹いた影響で、解消した様子が観測されました（図2）。また、この影響により12日には蒲郡港で苦潮の発生が確認されました。

今後は、表層の水温上昇と梅雨の影響を受けた塩分低下にともなう成層化により、貧酸素水塊が発達すると思われます。

表2 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.8~23.5	27.1~32.4
底層	19.1~23.2	29.2~33.2

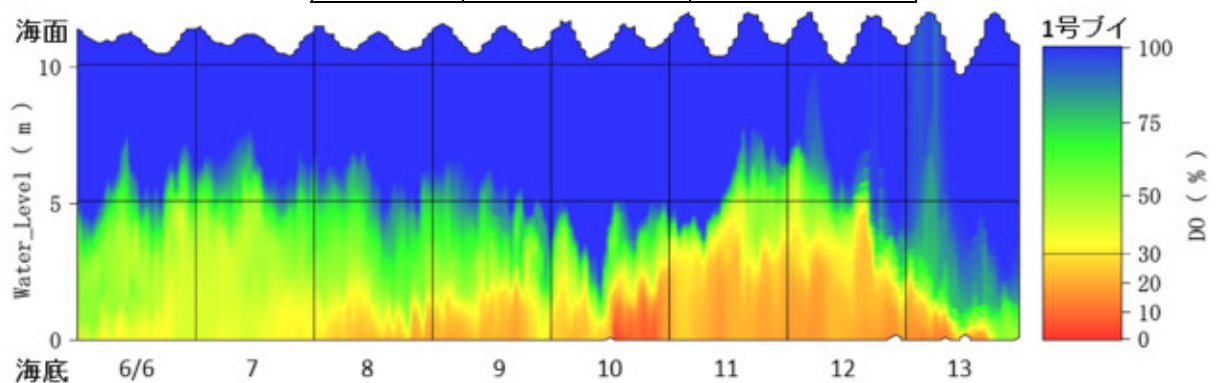


図2 溶存酸素飽和度 (DO) の経時変化 (三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ)

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

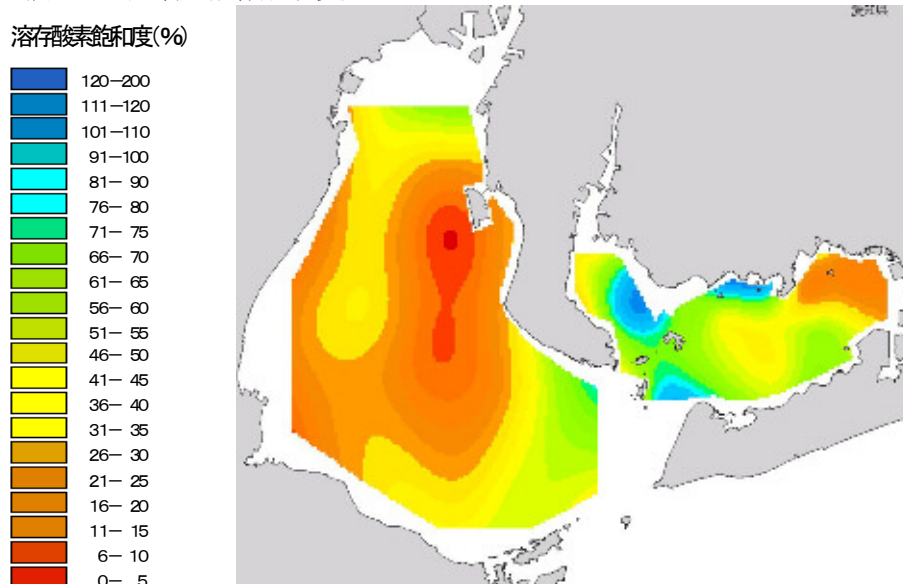


図3 平成30年6月7日 (伊勢湾)、6月1、4日 (三河湾)